NIE実践報告

1．タイトル：☆閉校式典に展示する「高原中新聞」をつくろう

2．学校名

長野県諏訪郡富士見町立富士見高原中学校

3．実践者名（代表者名）

山田　有理子

4．学年

第1学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間「富士見高原中学校講座」　21人

6．単元（本時の学習課題）名

閉校式典に展示する「高原中新聞」をつくろう

7．目標（狙い）

閉校式典に向け、長野県NIE推進協議会の方から新聞づくりの観点を教わりながら、読み手にわかりやすい新聞をつくる。

8．評価の視点

長野県NIE推進協議会の方から学んだことをもとに、読み手にわかりやすい新聞を作成することができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「閉校式典に展示する『高原中新聞』をつくろう」[総合的な学習の時間] 19時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)文化祭で展示した新聞を見合い、アドバイスをしあう。(1時間)
(2)校長先生から閉校式典への思いを聞き、閉校式典に展示する「高原中新聞」の計画を立てる。(1時間)
(3)一般紙がどのように構成されているかを調べ、発表しあう。(2時間)
(4)長野県NIE推進協議会の方から新聞の書き方を学ぶ。(2時間)
(5)学んだことをもとに、メイン記事を主にしながら記事を書く。(6時間)
(6)内容がより伝わるように、メイン記事の見出しを考えたり修正したりする。(1時間・本時)
(7)メイン記事以外を作成し、新聞を完成させる。(4時間)
(8)作成した新聞を振り返る。(1時間)
(9)長野県NIE推進協議会の方にお礼状を書く。(1時間)
(留意点)
・自分の感覚ではなく、常に読み手意識を持った作成を心がけるよう促す。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

一度作成した新聞の振り返りと校長先生の閉校式典への願いにより、新聞づくりへの意欲が生まれた。さらに、長野県NIE推進協議会の方々のご指導により、より新聞らしい新聞の作り方がわかり、作成意欲が増した。完成した新聞は以前に比べ大変良いものができ、生徒の自信となった。

12．成果と課題

長野県NIE推進協議会の皆様には何度か足を運んでいただき、生徒への指導のみならず職員へのアドバイスもいただけた。大変ありがたかった。このような良さを広く多くの人に知っていただきたいと思った。
閉校式典というタイムリーな目標があったため、生徒の意欲が喚起できた。機会をとらえて単元を仕組む大切さを学べた。